


農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	共同獣医学科・教授・御領 政信	
紹介する研究シーズ名	家畜・家禽の病性鑑定	
キーワード	動物の病気、病理診断、病理組織学	

シーズの「売り」は！！

動物の病気を診断し、動物の健康維持、農場の経営安定化

- ① 養鶏場のブロイラー産業では、約 50 日で出荷するため、疾病が鶏群に侵入した場合には、早期に対応しなければ、被害が甚大となるため、疾病の早期確定診断が必要となる。これら疾患の基礎的研究を行っており、診断学の向上に貢献しています。
- ② 小動物の疾患では、ヒトと同じように腫瘍が多発傾向にあり、摘出された組織に対して病性鑑定を実施、診断して治療法に利用されている。
- ③ 実験動物の安全試験の病理組織学的評価の受託を行っている。



写真1 鶏大腸菌症

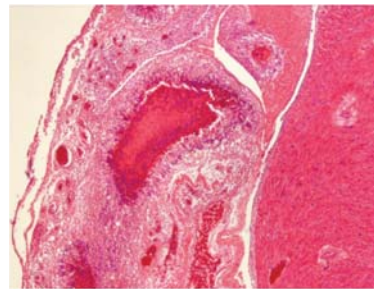


写真2 大腸菌性肉芽腫

【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

病性鑑定、病理組織診断

関連特許・関連資料等